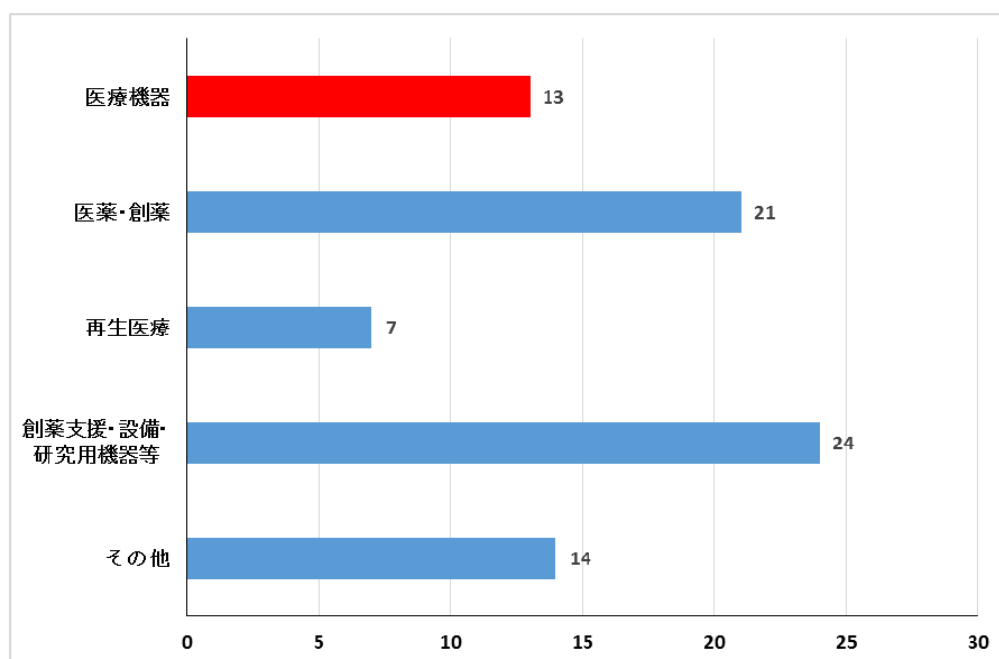


MDPRO ミニコラム： 「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット 2017」に参加して

10月11日(水)～13日(金)にかけてパシフィコ横浜にて、「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット 2017」が開催されました。

本サミットは、2016年9月に厚生労働省に報告された「医療イノベーションを担うベンチャー企業の振興に関する懇談会」報告書にまとめられた、3つの柱(エコシステムを醸成する制度作り、エコシステムを育成する人材育成と交流の場づくり、「オール厚労省」でのベンチャー支援体制の構築)に基づき、ベンチャーと大手企業、金融機関、研究機関、医療機関等のキーパーソンとのマッチングの場として初めて開催されました。

出展した63団体の展示内容は医薬品からソフトまで幅広く、そのうち医療機器関連の展示は13団体でした。(展示内訳は【表 展示内容内訳(複数項目展示あり)】を参照)



【表 展示内容内訳(複数項目展示あり)】

本サミット内で開催されたシンポジウム、「日本の医療系ベンチャーのエコシステムを如何に構築するか」ではパネリストと参加者間で活発な意見交換が行われ、日本におけるエコシステムの構築の必要条件として、パネリストからは起業、医療・経営の知識をもった専門人材の養成、ベンチャー企業所属の参加者からは資金調達先の多様化についての必要性が挙げられました。

本サミットを含め、行政やPMDAの医療系ベンチャーを支援する体制が整備されたことにより、近い将来に多くのベンチャー企業が立ち上がってきたときには、産業側においてはエコシステム構築に必要な専門人材のベンチャー企業への供給とともに、ベンチャー企業の事業、技術を自社の事業戦略にどのように取り込んでいくかの目利き力が必要となると考えます。

(医療機器政策調査研究所 木村 記)